

第3学年【音楽】学習指導案

日 時 平成16年6月29日(火) 5校時
生徒 3年A組 野17名 好18名 計35名
指導者 藤原 俊

1 題材名 旋律の重なりを味わいながら、表現を工夫しよう

2 題材について

(1) 教材観

この題材で教材として取り上げる「パッフェルベルのカノン」は、旋律が独立性をもって重なり合いながら進行するポリフォニーの美しい曲である。また、曲の構成の面からも順次的な音の進行、跳躍的な音の進行、単純なリズム、やや複雑なリズムなど多彩で、興味や関心を持って楽しく取り組める教材である。更には、ゆったりとしたテンポでの演奏が可能であり、既にアルト・リコ・ダ - の演奏を得意とする生徒をはじめ指使いに不安を持っている生徒にとっても親しめる教材である。

(2) 生徒観

3年生になってからは授業に前向きに取り組むようになってきており、少しずつではあるが進んで学習に取り組もうとする様子が見えてきた。2年生のときには、授業に集中できない生徒が多く、リコ・ダ - の学習についても積み重ねてきているが生徒個々の技能の習得の面で大きな差を生じている実態がある。中には「自分にはできない」と諦めている生徒も見られる。そのような生徒にも表現活動を楽しめるように、生徒一人一人に自信を持たせるための支援を心がけていきたい。

(3) 指導観

リコ・ダ - の運指の習得の度合いによって、「楽しみながら学習に取り組んでいる生徒」或いは、「自信を失いかけている生徒」と生徒個々の実態は様々であり、この題材では特に技能の習得が遅れている生徒にも楽しみながら学習活動に取り組めるように、個別指導を含めた個人練習、仲間同士での教え合い学習や二重奏の練習など学習形態を工夫しながら自信を持たせることをねらいとして指導していきたい。また、ソプラノ・リコ・ダ - を入れた三重奏、或いは四重奏など、生徒個々の興味・関心や基礎技能習得の段階に応じて選択しながら発展的な学習ができるよう指導していきたい。

尚、本時(第1時)は「音楽的な表現のための準備の段階」としてとらえており、階名の読み取りと運指の学習活動に重点をおいて指導し、次時からの音楽的な表現活動につなげていきたい。

3 題材の目標

【関心・意欲・態度】リコ・ダ - の奏法や楽曲に関心を持ち、進んで表現活動に取り組む。

【感受・工夫】美しい音色や曲想を感じ取りながら表現を工夫する。

【表現の技能】正確な運指で表情豊かに表現する。

【鑑賞】お互いの演奏のよい点に着目しながら聞き合う。

4 題材の指導計画と評価規準

時	指導目標	関心・意欲・態度	感受・工夫	表現の技能	鑑賞
第一時 本時	・自分の力で階名を読み取ることができる ・正しい運指を覚えることができる。	・楽曲やアルトリコ - ダ - の演奏に関心を持って、指使いの練習に意欲的に取り組んでいる	・一つ一つの音のつながりを感じ取りながら指使いを工夫する	・基本的な指使いが身に付いている。	・曲奏の変化を味わいながら、曲全体を聴き取っている。
第二時	・曲全体を通してリコ - ダ - で演奏する。	・フレ - ズのまとまりに関心を持って表現活動に意欲的に取り組んでいる	・いろいろなリズムの違いを感じ取りながら表現を工夫している。	・いろいろなリズムを組み合わせる演奏できる技能を身に付けている。	・各フレ - ズ毎のリズムパターンの特徴を感じながら曲全体を聴き取っている。
第三時	・二重奏や小アンサンブルを楽しみながら演奏する。	・二重奏や小アンサンブルに興味を持って意欲的に演奏表現をしている。	・各声部の役割を感じ取り、曲にふさわしい音色や奏法を工夫しながら器楽表現を工夫している。	・他の声部の役割を理解して演奏表現できる技能を身に付けている。	・他のグループの演奏を味わいながら聴きとっている。

5 本時の指導

(1) 目標

階名を読み取り、正しい運指を覚えることができる。

(2) 本時の評価の観点と具体的評価基準

評価規準	A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する生徒への手立て
評価の観点			
関心・意欲・態度	楽曲やアルト・リコ - ダ - の演奏に関心を持って意欲的に運指の練習に取り組んでいる	楽曲やアルト・リコ - ダ - の演奏に関心を持って楽しみながら運指の練習に取り組んでいる。	集中できない生徒には励ましの言葉を掛けながら練習に集中して取り組めるように支援する。
感受・工夫	音と音とのつながりや、いろいろなリズムの特徴を理解し豊かな表現を工夫している。	音と音のつながりやリズムの特徴を部分的にとらえながら自分なりに表現を工夫している。	音のつながりやリズムの特徴を分かりやすく説明しながら個別指導をする。
表現の技能	階名を読み取り、正確な運指で旋律の流れを考えながら自信を持って運指の学習を進めることができる。	階名を読み取り、ゆっくりな速さではあるが、正しい運指で旋律をつなげて吹くことができる。	階名の読み方を指導する。一つ一つの音が途切れてしまう生徒には、順次的な進行の部分をゆったりとしたテンポで個別に指導しながら工夫させる。
鑑賞	それぞれの旋律がリズムを変えながら重なり、からみ合う多声音楽の曲想の美しさを感じ取りながら曲全体を聴き取って感想を持つことができる	曲全体を聴き、特徴的な部分についていくつか取り上げ、自分なりの感想を持つことができる。	多声音楽の特徴について分かりやすく説明する。

(3) 展開 個に応じた指導 評価

段階	学習活動及び内容、予想される反応	支援、評価、留意事項、教具等
導入 10分	1. 既習曲の演奏	「ブンブン変奏曲」を吹きながら、運指の確認をする いろいろな速さで演奏してみる
展開 33分	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">「パッフェルベルのカノン」の指使いを覚えよう。</div> 2. 「パッフェルベルのカノン」のCDを聴く <ul style="list-style-type: none"> ・『聴いたことのある曲だ。』 ・『きれいな旋律だ。』 ・『楽しそうな曲だ。』 ・『演奏するのが難しそうだ。』 3. 楽譜に階名を書く <ul style="list-style-type: none"> ・『階名がよく分かる』 ・『階名を書くのが難しい』 ・『リズムが分からない』 4. 運指の練習をする <p style="margin-left: 20px;">A 1の5小節、6小節目の部分を全員で吹いてみる</p> <p style="margin-left: 20px;">A 2の5小節、6小節目の部分を全員で吹いてみる</p> <p style="margin-left: 20px;">A 1、A 2の内から自分を取り組んでみたいと思うパートを選んで指使いを練習する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『自力で出来そうだ。』 ・『簡単なところは出来そうだ。』 ・『指使いがよく分からない。』 5. 全員で合奏する	「パッフェルベルのカノン」のCDとCDプレイヤーを準備 曲のイメージを掴ませる。 《学習力 - ド》 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・全体的に旋律がゆったりと流れる ・複数の旋律がからみ合っている ・それぞれの旋律が別々の動きをしている ・リズムが様々に変化している </div> 階名の読み方について復習する 楽譜を配布し、アルト・リコ・ダ - の旋律に階名を書かせる。 階名を読み取って書くことができるか(擬)戸惑っている生徒には個別に支援する 初めにピアノで旋律を弾いて聴かせ、リズムをつかませる ピアノに合わせてA 1とA 2の曲頭を両方吹かせてみる。 A 1、A 2の内、自分ができそうなパートを選択させる 生徒間巡視をしてアドバイスを 意欲的に練習に取り組んでいるか(関) 運指ができてきているか(擬) 学習の成果の確認
終末 7分	6. 自己評価し感想をまとめる 7. 次時の予告	階名を読み取り、正しい運指を覚えることができたか 《学習力 - ド》 (関)(工夫)(擬)